

川崎市入札契約制度 アンケート（集計結果）

1 アンケートの目的

品確法等の改正を受け社会経済情勢に沿った入札契約制度の見直しを検討する中で、事業者の意見を参考とするために実施した。

2 アンケートの実施方法

競争入札参加資格を有する市内建設事業者に電子メールにより、アンケート送付・回収を行った。

3 調査項目

平成26年6月から最低制限価格の算出式の変更についてなど18項目

4 回収状況

○送付日 平成27年7月7日 ○回答期限 平成27年7月31日

○回答数 141社（約24.1%の事業者から回答）

5 アンケート集計結果 概要（次ページ以降は、主な質問項目の集計結果を記載）

【ダンピング防止対策 質問1、2関係】

最低制限価格の引上げ（予定価格比率の上限撤廃や共通仮設費・現場管理費・一般管理費の設定率の引上げ）など、さらなる引き上げを要望する声が多かった。

近年の本市のダンピング防止策としては、平成26年6月に最低制限価格の直接工事費の算定式を95%から100%とし、予定価格との比率の上限を90%から95%へ引上げ、加えて、平成28年4月からは、中央公共工事契約制度運用連絡協議会モデル（以下、「中央公契連モデル」という。）の改正に合わせ、最低制限価格の現場管理費の算定式を80%から90%へ引上げた。

【入札の辞退理由 質問4関係】

辞退理由としては、「採算が合わない」、「技術者及び現場代理人の不足」が各々約25%、次いで「工期設定が厳しい」が約20%と続いた。

【総合評価入札について 質問5～8、12関係】

総合評価の対象案件については、「現状でよい」が約50%を占め、ついで「適用を拡大すべき」の約12%が続いた。この二つの回答を合わせると（現状以上の回答）約62%にのぼり、「縮小すべき」の22%を大きく上回った。

平成27年度から新たに評価項目として加えた「建設機械保有」、「若手技術者の配置」、「JV構成員に市内建設業者を構成」については、約40%の事業者の賛同をいただいた。一方、「建設機械保有」、「若手技術者の配置」では機械保有、若手技術者の配置が困難といった意見もあった。

また、災害対応実績を総合評価入札の評価項目に追加することについては、約72%が「導入すべき」との回答であった。このことについては、平成28年4月以降に公告する総合評価入札案件から「アシストかわさき」として評価項目に追加した。

女性技術者については、約80%の事業者が女性技術者がおらず、また、女性技術者がいる場合でも1～2名程度であり、非常に少ないことが分かった。

【社会保険等未加入対策 質問14、15関係】

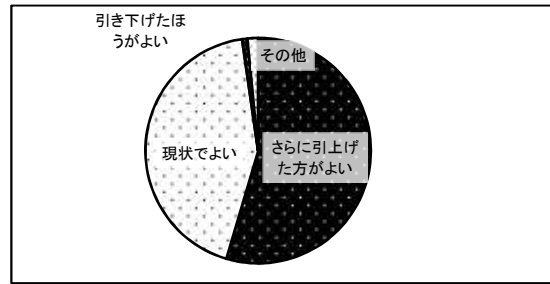
約70%の方々が賛成の意見であった。また、さらに約55%の方々が、対象を拡大すべきとの意見があった。

※次ページ以降に記載する「n」は、設問の回答社数を示している。

1 平成26年6月から最低制限価格の算出式の変更(直工費95%→100%など)

1 さらに上げた方がよい	72
2 現状でよい	57
3 引き下げたほうがよい	1
4 その他	5

n=135



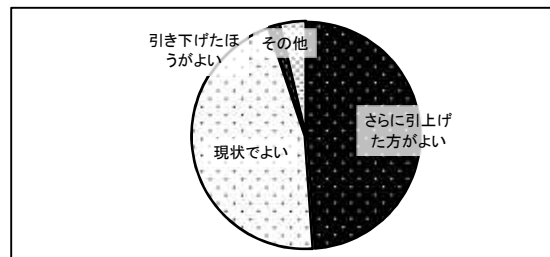
寄せられた意見

上限撤廃 3件 自由意見としては、共通仮設費や現場管理費、一般管理費など全体的な算定率の引き上げ、上限撤廃といった、算定率の引き上げに関するご意見があった。

2 平成26年6月から、低入札価格調査の失格基準の見直し

1 さらに上げた方がよい	66
2 現状でよい	62
3 引き下げたほうがよい	2
4 その他	5

n=135



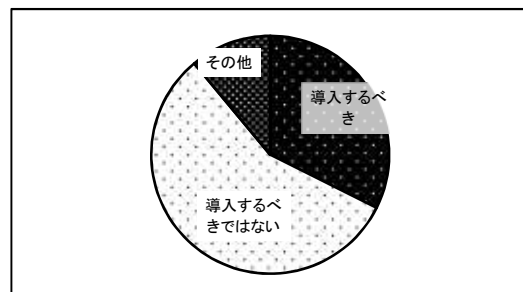
寄せられた意見

自由意見として、失格基準の引上げのご意見がある一方で、低入札調査の廃止といった意見もあった。

3 最低制限価格を算出するに当たって、ランダム係数の導入

1 導入すべき	44
2 導入すべきではない	77
3 その他	15

n=136



寄せられた意見

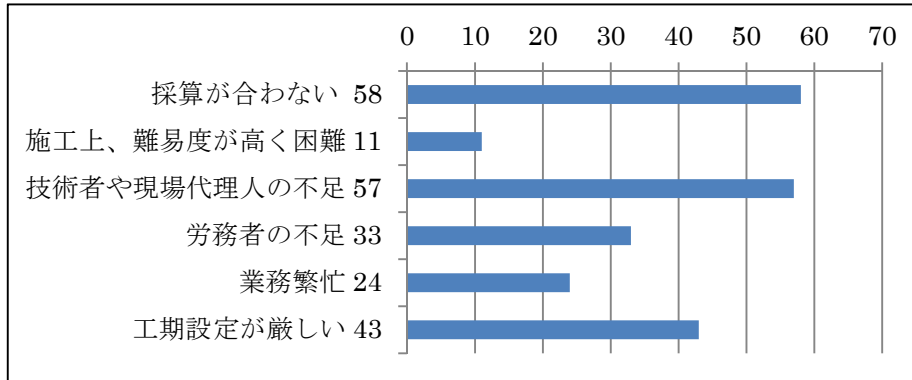
自由意見の中では、導入の意味が感じられず、反対の意見が多くあった。

4 指名競争入札の指名通知を受けた、又は一般競争入札の入札参加申込みをしたが、入札を辞退したことがあるか

1 ある	119
2 ない	14
3 入札に参加したことがない	2

n=135

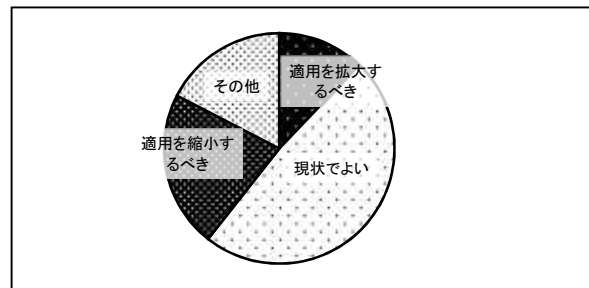
あると答えた理由（複数回答可）



寄せられた意見	自由意見としても、採算が合わない、平準化要望といった意見があった。
---------	-----------------------------------

5 総合評価一般競争入札方式について

1 適用を拡大するべき	16
2 現状でよい	64
3 適用を縮小するべき	29
4 その他	23



n=130

寄せられた意見	<p>自由意見として、総合評価対象案件を金額ではなく工事種類で決めて欲しいといったご意見があった。</p> <p>また、評価項目について、価格以外の要素をより重視して欲しい、実績を重視しすぎているといったご意見があった。</p>
---------	--

6 平成 27 年度からの総合評価落札方式の評価項目（機械設備保有、若手技術者配置、JV 構成員に市内建設業者）の追加について n=106

寄せられた意見	現状でよいというご意見が最も多かった。 一方、より市内建設業者を優先すべきといった意見、若手技術者の配置が困難、建設機械保有が困難といったご意見もあった。
---------	--

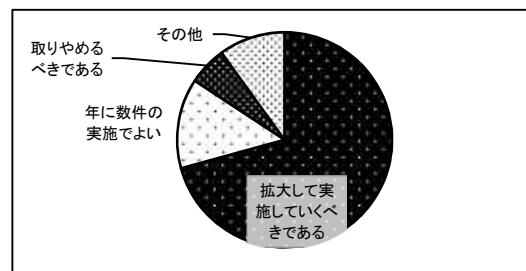
7 平成 27 年度の契約案件から、総合評価落札方式（簡易型）の技術提案項目の評価方法について、中間点を設けたことについて n=94

寄せられた意見	いただいたご意見のうち約半数の方々から、評価をいただいた。
---------	-------------------------------

8-1 市と災害時の協定を締結している、又は締結している団体に加入していることを一般競争入札の参加要件としている入札について

1 拡大して実施していくべきである	99
2 年に数件の実施でよい	19
3 取りやめるべきである	8
4 その他	14

n=140

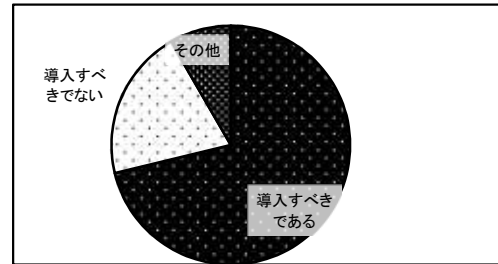


寄せられた意見	自由意見の中では、実働を伴うものと伴わないものとで、評価を分けて欲しい趣旨の意見があった。
---------	---

8-2 災害・緊急工事を施工した事業者に総合評価において加点する制度の導入について

1 導入すべきである	94
2 導入すべきでない	27
3 その他	11

n=132

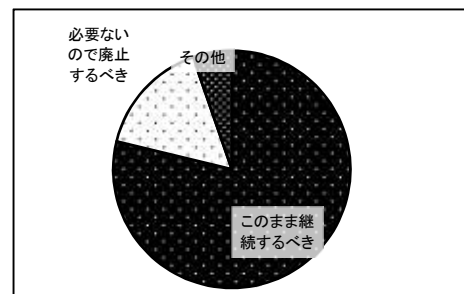


寄せられた意見 自由意見として、よい評価である、よりインセンティブが働くよう評価して欲しいといった意見がある中、公平ではないので反対といった意見もあった。

9 積算疑義申立制度について

1 このまま継続すべき	104
2 必要ないので廃止すべき	21
3 その他	7

n=132



寄せられた意見 疑義申立内容等について、落札候補者には通知してもらいたい、疑義回答内容の後日公表といった意見があった。

10 積算に違算が発覚しても、落札候補者に変更がなければ、続行していることについて

1 順位の変更がなければ続行すべき	95
2 違算があれば入札を中止すべき	30
3 その他	9

n=134



寄せられた意見 自由意見の中では、多少の違算であれば続行といった趣旨の意見が多かった。

11 工事場所と同一区に本社があることを入札参加資格とする入札案件の拡大について

1 更に増やすべきである	48
2 ちょうどよい	48
3 取りやめるべきである	31

n=127

寄せられた意見	自由意見としては、拡大の趣旨の意見と反対の意見とで分かれ結果となった。
---------	-------------------------------------

12 女性技術者（主任技術者・監理技術者）について

主任技術者の人数	0名 68社 1名 13社 2名 4社 3名 2社	監理技術者の人数	0名 68社 1名 12社 2名 1社
----------	------------------------------------	----------	---------------------------

n=87

n=81

現場に配置可能な女性技術者の人数	0名 41社 1名 20社 2名 4社 5名 1社
------------------	------------------------------------

n=66

今後の新たな女性技術者の雇用

1 雇用する予定	60
2 雇用する予定はなし	63

n=123

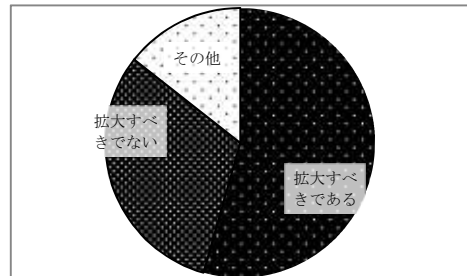
14 社会保険等未加入建設業者との1次下請を禁止について n=118

寄せられた意見	約70%の方々が、当該制度に賛成の意見だった。
---------	-------------------------

15 国土交通省直轄工事では、平成27年8月から1次下請総額3000万円（建築一式は4500万円）未満の工事案件にも拡大する予定です。この改正内容について

1 拡大すべきである	68
2 拡大すべきでない	39
3 その他	18

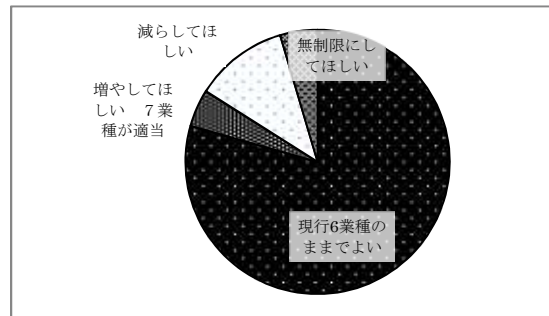
n=125



16 競争入札参加資格申請で登録できる数について

1 現行6業種のままでよい	104
2 増やしてほしい 7業種が適当	6
3 減らしてほしい	15
4 無制限にしてほしい	6

n=131



寄せられた意見	<p>1 より、希望順位を設定できるようにしてもらいたい。全く関係ない業種は登録しないようにしてもらいたい。</p> <p>2 より、資本金、社員数、技術者に応じた対応が可能なら増やしてもらいたい。</p> <p>3 より、専門性を高めた方が品質確保につながる。</p>
---------	---